



「リンガーハット長崎宿町店」が オープン50周年を迎えました

「リンガーハット」の1号店である「リンガーハット長崎宿町店」が、2024年8月13日(火)に50周年を迎えました。今も郊外のロードサイドに店舗を設けていますが、これは開店した当時、マイカーブームが到来し「交通量の多い場所に需要がある」と見込んでのことでした。その結果、長崎宿町店は広い駐車場を持っていたこともあり、連日多くのお客さまが訪れました。その後、リンガーハットは赤い屋根を目印とした店舗をチェーン展開し、全国に560店舗を広げるまでに成長して

いったのです。長崎宿町店では、そんな半世紀におよぶリンガーハットの歴史をご紹介するウェイティングスペースを設けたり、内装を明るい色調に変えたりするなど、50周年をきっかけに店舗をリニューアルしました。またエントランスには、スロープ造成の工事を進めており、11月中旬に完成する予定となっております。これからも感謝の気持ちと創業当時の想いを大切にしながら、リンガーハットはさまざまな取り組みを進めていきます。



オープン当時の「リンガーハット長崎宿町店」



50周年記念歴史パネル

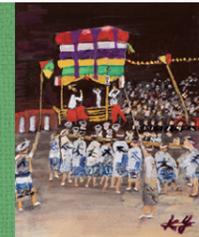


撮影用
手持ち
パネル

表紙について

テーマ 「長崎くんち」の奉納踊「コッコデシヨ」

作画 名誉会長 米濱和英



「長崎くんち」は、毎年10月初旬に当社グループの創業地である長崎のさまざまな町で開催される伝統的な祭礼です。その中でも一番人気の奉納踊「コッコデシヨ」を、当社グループの創業者であり名誉会長でもある米濱和英が描きました。

初秋の澄み切った青空の下、各踊町によって披露される演し物からは、長崎ならではの異国情緒も垣間見えます。機会がございましたらぜひ長崎へ足をお運びいただき、国の指定重要無形民俗文化財にも指定された奉納踊を観覧するとともに、当社グループの長崎卓袱浜勝にて、郷土料理「卓袱(しっぽく)」をご堪能いただけますと幸いです。



株主・投資家の皆さまへ

リンガーハット通信 第61期

中間期(第2四半期)
2024年3月1日~2024年8月31日



TOP INTERVIEW

さらなる集客に注力し、
国内外で事業を発展させます。

2024年度上半期の業績を振り返って

今も続く原材料費やエネルギー費、人件費の高騰などの影響により、リンガーハット、濱かつともに3月に価格改定へと踏み切りました。お客さまの反応につきましては、リンガーハットは商品の品質と価格のバランスが良かったため、お客さまにもスムーズにご理解いただき売上の上につながりました。濱かつにつきましては、客足が伸び悩みましたが、メニュー内容を再検証するなどして改善を図っているところです。ただしグループ全体で見れば、上半期の売上は目標にかなり近づけることができました。店舗のタイプ別で見てもロードサイド、ビルイン、フードコートともにコロナ禍前の状況に戻り、テイクアウトも売上の13%を占めるなど堅調です。

以上の結果、中間連結会計期間の売上高は212億36百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は7億4百万円(前年同期比460.4%増)、経常利益は5億95百万円(前年同期比312.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失36百万円)となりました。

さらなる集客に注力し、国内外で事業を発展させます。

コロナ禍の影響もほぼなくなり、お客さまに来店していただける機会がますます増えてきました。この状況を、企業のさらなる成長の契機と捉え、

前例に囚われないサービスを展開しながら

国内外問わずさらなる集客に力を入れていきます。

また外的要因によるコスト増加やSDGsに関わる社会的な問題など、

解決しなければならない課題も数多くありますが、こちらも社員一丸となって

一つひとつ解決し企業の持続的な発展につなげていくつもりです。

株式会社リンガーハット
代表取締役社長兼CEO

佐々野 謙 延

2024年度上半期のさまざまな取り組みについて

上半期はもとより、下半期も続けて意識的に取り組んでいきたいのが海外への出店です。現在、海外に10店舗を展開していますが、上半期はハワイにある「リンガーハット ハワイアラモアナ店」をリロケートして3月に再オープン、そして6月にはバンコクに「HAMAKATSU ARI店」を新規出店させました。今後の出店先としては、特にASEAN諸国を注視しています。日本とは違い人口の増加や市場拡大が見込めるからです。しかし海外進出を推し進めるためには、国内での業績を上げて資本力を強化しなければなりません。その取り組みの一つとしてあるのが、濱かつの惣菜専門店です。3月に「濱かつ マイニング博多店」、そして7月には2店舗目となる「濱かつ 岩田屋本店」がオープンしました。また濱かつにおいても関東への再出店を目指してプロジェクトチームをつくり、立地選定など



を行っている最中です。

一方、マーケティング戦略については個店販促で独自に行っているSEO(Search Engine Optimization:検索エンジン最適化)対策に手応えを感じており、今後は関西地方への展開や地元の特化したインフルエンサーを起用したSNS戦略も視野に入れて、若年層をはじめとした集客数の増加を図っていきます。そして忘れてはいけないのが、リンガーハットのブランドにも関わるQSC(Quality(品質)・Service(サービス)・Cleanliness(清潔))に磨きをかけることです。その一環として、濱かつではサービスコンテストや調理コンテストなどを実施し、従業員たちは自身のスキルを高めています。

昨今の社会情勢を受けた対応

人件費の削減にもつながる業務の効率化を図るうえで、DXは欠かせません。例えば、店長が行っている事務処理をデジタル化することで、取り組まなければならないオペレーション業務にさらに集中できます。また人手不足が深刻となっている中、外国籍の従業員は今より増えていくでしょう。そうした人財の教育の際にはマニュアルの確認にタブレットを活用しています。タブレットを使用することで、マニュアルの文字をさまざまな外国語に変換できるため、外国籍の従業員の教育にも対応できると考えています。また人財に関して言えば、労働環境の改善や離職防止が話題に上がることがあります。リンガーハットでは、ダイバーシティ推進みらい座談会を定期的に行き、会社での立場に関係なく誰もが何でも話して提案する機会を設けています。今年から始めたお孫さんのための育孫休暇も、この会から生まれました。

そのほか常に関心を寄せているのは、地球温暖化をはじめとする環境への配慮です。各店舗では、店舗照明のスイッチにドットシールを貼っています。日本語ではなく色や形で表せば、外国籍の従業員も理解しやすくなります。そして設備を稼働させなくてよい時間帯は、従業員たちが積極的にスイッチを切ります。こうした地道な行動を大切にしていますが、今後、より環境保全に貢献できる設備へ投資する必要性も感じています。



下半期も好調維持を目指して

リンガーハットでは、商品、マーケティングへの選択と集中を念頭に置きながら上半期の好調をそのまま継続できるよう努めていきます。濱かつについては売上を目標値まで上げられるよう、客数を伸ばすためにランチメニューのリニューアルに取り掛かっております。その際は、メニューの内容が価格と見合っているか、より厳しく見極めていきます。また下半期はリンガーハットのかきちゃんぽんや濱かつの牡蠣ふらいなど、例年安定した人気を誇るメニューの販売が控えており、グループ全体の収益を上げる絶好の機会だと思っています。

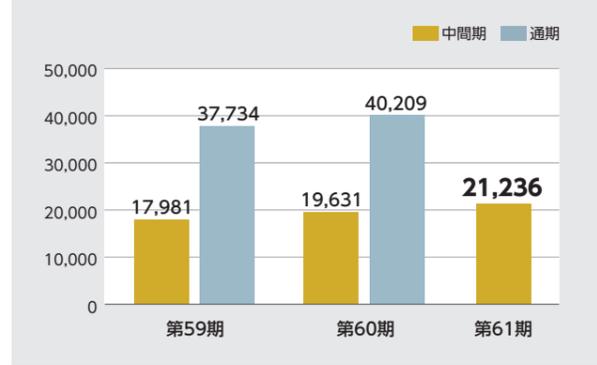
海外への展開については、執行役員の一を新たに専任としました。今後、ASEAN諸国の中でもタイやベトナム、カンボジアを視野に入れながら、より一層取り組んでいきたいと考えています。

ステークホルダーの皆さまへ

当中間期の決算におきましては、公表値を達成することが叶いました。これもひとえに株主の皆さまの応援とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。引き続きリンガーハットグループへのご支援を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

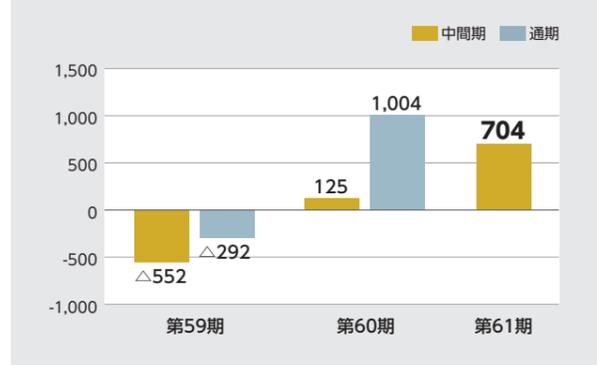
売上高

212億36百万円(前年同期比8.2%増) (単位:百万円)



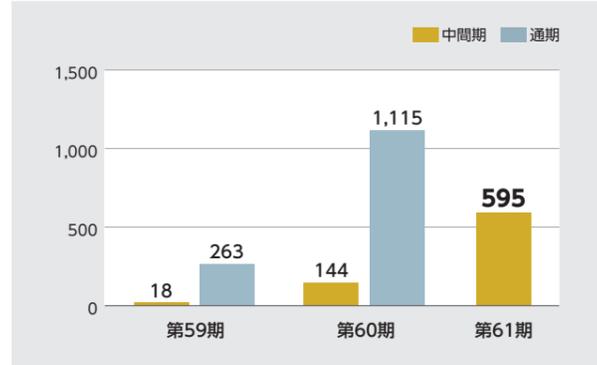
営業利益

7億4百万円(前年同期比460.4%増) (単位:百万円)



経常利益

5億95百万円(前年同期比312.7%増) (単位:百万円)



連結貸借対照表

資産合計		負債・純資産合計	
2024年2月29日現在	28,726	2024年2月29日現在	28,726
2024年8月31日現在	29,635	2024年8月31日現在	29,635
流動資産	5,267	流動負債	9,901
固定資産	23,459	固定負債	5,965
流動資産	6,031	流動負債	7,594
固定資産	23,604	固定負債	8,951
		純資産	12,860
		純資産	13,089

連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間期 2023年3月1日から2023年8月31日まで	当中間期 2024年3月1日から2024年8月31日まで	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	954	1,077	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△963	△1,285	△322
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	143	383
現金及び現金同等物の期首残高	2,373	2,243	△130
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,136	2,168	32

長崎ちゃんぽん事業



売上高
(2024年
中間期)

17,139百万円
(前年同期比9.5%増)

1号店である長崎宿町店が開店50周年を迎えた長崎ちゃんぽんリンガーハットでは、引き続き幅広い顧客層からご愛顧いただくことを目指し、さまざまな施策に挑戦しました。ちゃんぽんスープのバリエーションにみそ・しょうゆ・鶏白湯味を加えたほか、多くのお客さまからのご要望に応え、麺を焼いていない「やわらか太めん皿うどん」の発売などを通じて定番メニューの新たな楽しみ方を提案。テスト販売で好評を得た「海鮮ちゃんぽん」のリニューアルおよびブランドメニュー化や、期間限定の「リンガーハットの夏麺」の販売も行いました。またサブ商品として注力するぎょうざの販売促進策として、増量キャンペーンや企業向け福利厚生サービス「フクリー」へのクーポン掲載を実施しました。毎年恒例となった「ハットの日」キャンペーンに合わせたX(旧Twitter)上でのプレゼント企画も盛り上がりを見せました。全国のスーパーにおけるエスコックとのコラボ商品販売や、昨年の発売以来高い人気を誇る鍋スープの新商品発売、ミニストップにおける当社監修商品の販売など、店舗の味をご家庭や職場で気軽に楽しんでいただくための工夫も継続しています。以上の結果、売上高は17億139百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は4億88百万円(前年同期比1,433.2%増)となりました。



とんかつ事業



売上高
(2024年
中間期)

3,996百万円
(前年同期比2.8%増)

とんかつ濱かつでは集客を最大のテーマとして掲げ、顧客獲得のための興味喚起を目的に引き続きメニュー戦略の試行錯誤を行いました。一例として手頃な価格で味わえるランチメニューや、メイン料理に加えて週替わりの逸品とチキンかつをお得に楽しめる、店舗限定の「夜得 週替わり御膳」を投入。そのほか春の「明太重ねかつ」や夏の「梅しそ巻」など季節の味わいを楽しめる人気のシリーズ商品、地域・期間限定の「あじの梅しそ巻」や「涼うどん」、お子さまにも喜んでいただけるポテトサラダや優しい甘さの杏仁豆腐といった多彩なメニューを展開しました。対象商品の注文で一品プレゼントがもらえる「エビ祭り」、「唐揚げ祭り」や、コカ・コーラのリラクゼーションドリンク「CHILL OUT」を御膳・ランチとのセット価格で楽しめる「梅チル」キャンペーンなどの新たな試みも積極的に実施。惣菜専門店の2店舗目としてオープンした「濱かつ 岩田屋本店」は、百貨店内への出店で幅広い顧客層の来店が期待できるほか、福岡の人気ベーカリー「パンストック」とのコラボ商品「オランダかつロール」、「ヒレかつロール」の発売で注目を集めています。以上の結果、売上高は3億996百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は1億90百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

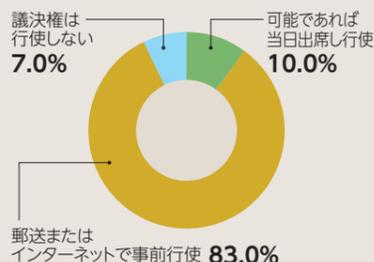


第60期 株主アンケート集計結果

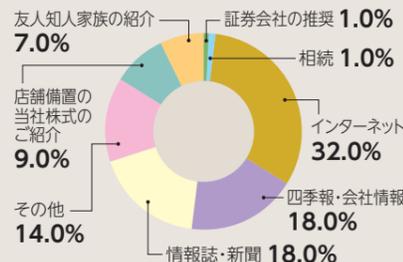
2024年5月22日～6月20日に、当サイト内にて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果をご報告申し上げます。

■対象：議決権あり株主さま 44,593名 ■回答数：5,376件 (回答率12.06%)

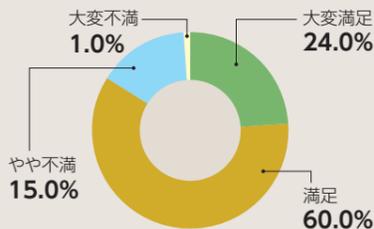
議決権行使の方針についてお聞かせください



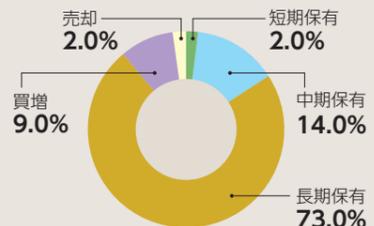
株式購入のきっかけについてお選びください



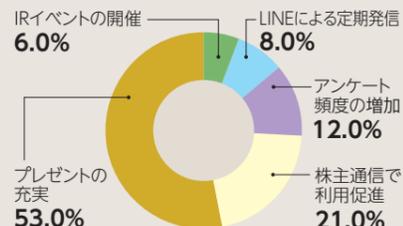
株主満足度についてお聞かせください



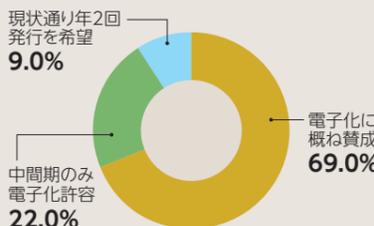
保有方針についてお選びください



株主倶楽部利用拡大のために必要なこと



株主通信電子化についてお聞かせください



株主アンケート(第61期中間)を実施いたします!

当サイト内にて株主アンケート(中間期)を実施いたします。ご回答いただいた株主さまの中から抽選で200名さまにリンガーハットグループ共通商品券1,000円分をプレゼントいたします。

アンケートの回答はこちらから!

当社の株主名簿*に記載された株主さまであれば、どなたでもアクセス可能です。
※当アンケートは単元株(100株以上)をお持ちの株主さまに限定させていただきます。

1 「プレミアム株主倶楽部 Ringer Net」にアクセス
<https://premium.ringernet.jp/>

2 下記の情報を入力してログイン(会員登録は不要)

- ①ログイン番号:株主番号(中間配当金計算書に記載の8桁の数字:ハイフン不要)
- ②パスワード:株主名簿に登録されたご住所の郵便番号(7桁の数字:ハイフン不要)

実施期間:2024年11月30日(土)まで



株主番号(8桁)はこちらでチェック!

*毎年2月末時点、又は8月末時点で作成された当社の株主名簿を基準としております。当社の株式ご購入時点で直ちにアクセス権限が生じるものではありませんので、あらかじめご了承ください。

LINE プレミアム株主倶楽部 LINE公式アカウントができました

株主さま限定情報配信やコンテンツ更新などをご連絡いたしますので、ぜひ「友だち登録」してご活用ください。

QRコードから友だち登録

LINEアプリの「友だち追加」⇒「QRコード」から右のQRコードを撮影しご登録ください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



ID検索から友だち登録

LINEアプリの「友だち追加」⇒「検索ID」から下のIDを入力しご登録ください。

LINE ID @premium_ringernet

■ 会社概要

会社名	株式会社リンガーハット (RINGER HUT CO., LTD.)			
本店所在地	長崎県長崎市鍛冶屋町6-50			
グループ本社	東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F			
創業	1962年7月22日			
設立	1970年6月13日			
資本金	9,002,762,834円			
主な事業内容	長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、とんかつ専門店「濱かつ」を主としたチェーン店及び、長崎郷土料理「長崎卓袱浜豚」の経営、食品・食品原材料の製造・加工並びに外販事業及び設備メンテナンスなどに関する事業			
従業員数(連結ベース)	(2024年8月31日現在) 正社員 / 558名 リンガーメイド・スター(パートタイマー・アルバイト) / 約10,000名			
グループ店舗数	全653店舗(2024年8月31日現在)			
	北海道・東北地方	14	中国・四国地方	39
	関東地方	252	九州・沖縄地方	216
	中部地方	58	海外	10
	近畿地方	64		

■ 株主メモ

事業年度	毎年3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月末日
定時株主総会	毎年5月開催
	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式名簿管理人・特定口座の口座管理機関	【連絡窓口】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場) 福岡証券取引所 ※証券コード8200
単元株式数	100株
公告方法	電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。 ※電子公告掲載アドレス https://www.ringerhut.co.jp/

株式に関する手続きについて

株主さまの各種お手続きの窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

●特別口座に記録されている株主さま

当社の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL0120-232-711 (通話料無料) にお問い合わせください。

●証券会社等の口座に記録されている株主さま

お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。

但し、郵便物などの発送と返戻・支払い期間経過後の配当金に関するご照会、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ等は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	26,067,972株
株主数	52,378名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,283,400	8.76
株式会社十八親和銀行	655,000	2.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)	600,000	2.30
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600,000	2.30
第一生命保険株式会社	566,700	2.17
株式会社三菱UFJ銀行	535,095	2.05
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	465,800	1.78
アサヒビール株式会社	357,500	1.37
株式会社福岡銀行	348,184	1.33
麒麟麦酒株式会社	332,780	1.27

- 大株主の持株比率は自己株式1,795株を控除して計算して表示しております。なお、当社グループ株式付与型ESOP信託により、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与型ESOP信託口)が保有する当社株式155,827株は、自己株式には含めておりません。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 公益財団法人米濱・リンガーハット財団は、当社グループ創業家(ヨネハマホールディングス株式会社)と当社それぞれの提出により、育英事業、文化・芸術・スポーツ等の発展普及推進事業を目的に、2015年9月1日に設立された公益財団法人であります。(詳しくは<https://yonehama-rh-found.or.jp/>をご覧ください。)
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)は、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を受益者として設定した他益信託によるものです。

■ 所有者別の状況



株主さま専用ウェブサイト

「プレミアム株主倶楽部 Ringer Net」

限定情報の配信や株主総会のライブ中継視聴など、さまざまなコンテンツをご用意しています。



※ログインにはIDとパスワードが必要です。